

平成29年8月27日
今週のベストショット



雁レクB 奈多サンデーズ 対 和白新町パイレーツ戦

71歳ながら先発フル出場で2犠打を決める奈多サンデーズ富安 巧選手。往年の名選手いまだ健在！

写真：三苦ホーネッツ 堺 厳生

青松園B 好機に長打で大量得点、三球会勝利！

レッドサンデーズ（4勝5敗）000003 3 古賀●、土師一荒口

三苦三球会 （5勝5敗）20060X 8 吉留○、堺（達）一藤澤

HR：川原（正）、川原（陸）（レッド）大津（三球会）3BH：八島（レッド）藤澤、渡辺（三球会）

2BH：木寺（レッド）堺（太）（三球会）

盗塁：古賀2、近藤（レッド）上村、渡辺、瀬口、渡辺、船橋（三球会）

初回、レッドサンデーズは先頭古賀選手が内野安打で出塁。盗塁で三塁まで進むも後続が三連続三振で無得点。その裏三球会は先頭の上村選手が死球で出塁すると、一死後、三番大津選手が左越えHRで2点先制。その後お互い走者は出すものの決定打を欠き無得点が続くが、四回裏三球会は先頭の六番堺太一選手が二塁打を放つと続く堺達也選手が四球を選び、さらにWPで無死二三塁のチャンス。ここで八番渡辺選手は左中間を破る三塁打を放ち2点追加。その後、レッド古賀投手は制球が定まらず連続四球を与え、藤澤選手に三塁打を浴び8-0と三球会の一方向的なゲームに。三球会吉留投手に要所を締められ得点できなかったレッドサンデーズは六回表、この回から登板した三球会堺達也投手を攻め、まず二番川原正豊選手が左中間越えのHRを放つと続く八島選手が左翼越えの三塁打を放つ。四番神田選手の内野安打で1点を追加。五番木寺選手は併殺に倒れるも六番川原陸選手がセンター越えのHRを放ち意地を見せる。しかし、反撃もここまで、最後のバッターがサードゴロに倒れ試合終了。中盤に大きくリードした三球会が逃げ切り勝利した。（記事・写真：ソルトベイスターズ 田中 裕次郎）



要所を締め得点を許さない好投を見せた三球会吉留投手。



力投するレッドサンデーズ古賀投手。



一回表先制2ランHRを放った三球会大津選手。



二回裏、三球会渡辺二塁手のジャンプも届かず。



三回表、レッド八島選手の当りが塚 達也三塁手の脇を抜ける。



四回表、濱口中堅手のレーザービームで捕殺成功。



四回裏、捕殺を狙うレッド木寺左翼手。



好守備を見せるサンデーズ川原 陸遊撃手。



セカンドゴロを好捕、三球会渡辺二塁手。



ゴロを処理する三球会上村一塁手。



盗塁成功、三球会瀬口選手。



四回裏、三塁打を放ち笑顔の三球会藤澤選手。



六回裏、レッド川原正豊選手決死のHRで意地を見せる。



六回裏、三塁手でWプレーを取った三球会吉留選手。



六回裏、兄弟でHRを放ったレッド六番川原 陸選手。

雁レクB 奈多サンデーズ最終回10点の猛反撃！！

奈多サンデーズ（3勝5敗1分） 2011010 14 江口、木下、砂場○ー野々下

新町パイレーツ（4勝6敗） 201021 6 八坂●ー大濱

HR：川上2、江口（奈多サ）大濱（新町パ） 3BH：江口（奈多サ）岡山（新町パ）

2BH：田中（奈多サ）長倉、本堂（新町パ）

両チームとも参加メンバーが少ないため両監督とも頭を抱えながらのオーダーでプレイボールとなった。初回サンデーズ先頭の川上選手がライト前で出塁すると、野手の乱れから三塁まで進塁し、二番砂場選手がセンター前タイムリー。続く三番江口選手のライト前タイムリーで2点を先制。その裏パイレーツは一番岡山選手がライトへ三塁打を放つと、バッテリーミスで1点。続く二番長倉選手が四球、三番白岩選手が送りバントからの四番安田選手のセンター前タイムリーで同点とした。三回表サンデーズは、四番野々下選手がセンター前で出塁。盗塁とバッテリーミスで三塁まで進塁し、六番木下選手の内野ゴロの間に生還して勝ち越し。その裏パイレーツはサンデーズ二番手木下投手から二番長倉選手がセンターへの二塁打で出塁すると、守備の隙をついて三塁へ好走塁。続く三番白岩選手の内野ゴロの間に再度同点に追いつく。四回表、食い下がるパイレーツを引き離したいサンデーズはこの回先頭の八番田中選手兼監督がセンター前ヒットで出塁すると、定石どおり九番富安選手が送りバント。一死二塁から一番川上選手のヒットでまたまた勝ち越し。一点差をどうにかしたいパイレーツは五回二死から五番本堂選手がサンデーズ三番手砂場投手から四球を選ぶと、続く七番大濱選手が値千金の中越えHRで逆転。ここで勝負あったかに思われたが、残り時間三分弱を残して攻撃終了。六回表この試合初めて追う立場になったサンデーズは、打順良く当たっている一番川上選手から。ここでパイレーツ先発の八坂投手から右中間HRですぐに同点に追いつくと、一死後三番江口選手の中越えHRで再逆転！その後打者一巡して一番川上選手にこの回2本目のHRが飛び出し、終わってみればこの回10点を奪取して勝負あり。パイレーツとしては六回の残り三分間攻撃が続いていれば白星を手に入れた試合だった。（記事・写真：三苦ホーネッツ 堺 厳生）



9人で戦う奈多サンデーズとパイレーツの握手。



一回表、2点目のホームを踏むサンデーズ砂場選手。



一回裏、先頭で三塁打を放つパイレーツ岡山選手。



一回裏、同点タイムリーを放つパイレーツ安田選手。



バースデー登板のパイレーツ八坂投手。



確実なバントでランナーを進めるサンデーズ富安選手。



華麗なバッティングのサンデーズ田中選手兼監督。



負けじと見事な守備を見せるパイレーツ白岩選手兼監督。



味方からも「あるよ！あるよ！」と声がかかるパイレーツ大野選手。



今季第1号ホームランのパイレーツ大濱選手。



第1号ホームランでうれしいパイレーツ大濱選手。



1イニング2本のHR！サンデーズ川上選手。



最終回HRを放ったサンデー三番江口選手。



二塁からホームを狙うサンデー木下選手。

青松園A 今期4試合目のサヨナラ劇の主役は藤田投手！！

雁の巣ライナース（4勝4敗）001001 2 有馬●-明瀬（航）

新町ウインズ （7勝3敗）001011X 3 藤田○-今林

2BH：藤田（新町ウ）盗塁：今林（新町ウ）中口（雁の巣）

強力打線を誇る雁の巣ライナース対、諦めない姿勢でサヨナラゲームにて勝ち星を積み上げている新町ウインズの対戦。初回両チームとも立ち上がりは1人ランナーを出すも得点には結びつかず静かな立ちあがり。試合が動いたのは三回表、ライナースは一番明瀬旭選手が四球にて出塁、続く二番今林選手はレフト前に流し打ちヒットに明瀬旭選手の好走塁で三塁まで進み、四番宇野選手のセンター犠牲フライにて先制点をあげる。一方の新町ウインズは三回裏、九番八田選手がレフト前ヒットにて出塁し、有馬投手の連続WPにて労せず三塁へ進むと、続く一番泉太一選手のライト犠飛にて同点とする。追加点が欲しいライナース打線だが四回、五回と得点ならず。新町ウインズは五回裏、一番泉太一選手が四球にて出塁、ここで有馬投手のWPとさらにエラーが絡み1点追加し逆転。時間もなくなりかけた六回表、ライナース四番久保田選手が死球、続く五番明瀬航選手は四球。一死後の七番山本選手に死球、九番南選手は四球と、押し出しにてまたまた同点となり、なおも満塁。迎えるバッターは好守好打者の一番明瀬旭選手。期待がかかったが、惜しくもショートライナー。続く二番今林選手もショートフライに倒れ逆転ならず。またもやウインズ最終回のサヨナラ劇が待っているのか？六回裏新町ウインズは一死後、若手成長株の永淵選手が粘りながら四球を選び出塁。ここで毎回フルスイングでのぞむ藤田投手が打席へ。このところ打撃不振が続いていたがやはり頼れる藤田投手が放った打球は、ライトへ強烈なライナー！！ライト守備の山本選手が必死に捕りに行くがあと一歩及ばずヒット！永淵選手が俊足を飛ばしてサヨナラのホームイン！！ウインズは今期4試合目の劇的サヨナラゲームとなった。この試合、両投手とも荒れ球が多い中、打撃陣が打ちあぐんでいたが、両捕手が必死に最小失点でとどめていた。どんな状況でも新町ウインズはナインまたベンチから大きな声を出して勝利への執念が感じられた。シーソーゲームの中、両チームの素晴らしい攻防が垣間見えた試合だった。（記事・写真：ブルーマーリンズ 末松 勝祝）



二回表、技あり流し打ちのライナース久保田選手。



三回表、明瀬旭選手の好走塁で三塁を陥れる。



三回裏、ウインズ一番泉太一選手の犠飛。



三回裏、同点のホームイン八田選手。



ナイスキャッチのライナーズ明瀬 航捕手。



六回表、満塁からのショートライナー明瀬 旭選手。



六回裏、おもいっきりのいい永淵選手の打球。



六回裏、藤田投手の逆転打で今季4度目のサヨナラ。



本日のヒーロー！ウインズ藤田選手。

奈多グラウンド フェニックス乱打戦を制す！

塩浜ジャガーズ (1勝9敗) 2 2 2 5 1 1 立石●ー橋村

奈多フェニックス (5勝4敗) 0 4 5 3 X 1 2 太田○ー実延

HR: 高原 (奈多フ) 2BH: 道喜 (塩浜ジ)

初回塩浜ジャガーズは、奈多フェニックス先発太田投手の制球の乱れで得点圏にランナーを進めると、五番佐藤選手のライト前タイムリーで先制。続く二回表も下位打線がチャンスを作り、一番竹尾選手のライト前ヒットで追加点。その裏フェニックスは、六番実延 (彰) 選手のレフト前ヒットと相手のエラーによりチャンスを作ると、九番今林 (孝) 選手のセンター前ヒットで1点を返す。なおも満塁のチャンスに押し出しで1点追加。更にエラーも重なりこの回同点に追いつく。三回表、このまま流れに乗りたいフェニックス太田投手であったが、四球も重なり、満塁のピンチを作ってしまうとジャガーズ九番道喜選手がこの日2本目のヒットで2点を追加。しかし、三回裏ジャガーズ立石投手が突如PB2個と制球を乱しピンチを迎えると、フェニックス七番太田選手の内野安打で1点を返すと、その後ジャガーズのエラーが重なり同点に追いつくと、一番高原選手のHRで一挙に試合をひっくり返す。最終回フェニックスはこのまま踏ん張りたいところであるが、四球、エラー等で苦しい場面が続き、満塁の場面でジャガーズは藤村選手のセンター前タイムリーで2点を返し、八番小金丸選手もヒットで続き同点に追いつく。ここで迎えるのは、この日2安打と絶好調の道喜選手。三打席目もやってくれました！中越えタイムリーで逆転！このまま流れをつかんだと思われたが、最終四回裏、立石投手の制球が定まらず四球、PBで1点を返され、なお死球が続き満塁のピンチ！ここで立石投手はピッチャーゴロに抑えるも味方のエラーで同点に追いつかれる。何とか同点で踏ん張りたいところであったが本日HRを打っているフェニックス一番高原選手にライト前ヒットを打たれ逆転を許す。ここで時間切れとなり、フェニックスのサヨナラゲーム！二転三転と目まぐるしく展開が変わる乱打戦を制した勝利はフェニックスにとって大いに満足できるものとなったことだろう。(記事・写真: 奈多クラブ 今林 賢人)



ジャガーズ先発の立石投手。



フェニックス先発の太田投手。



見事なライト前ヒットを放ったジャガーズ一番竹尾選手。



フェニックス五番打者実延新伍選手。



ジャガーズ三番内田選手。



ホームランを含む大活躍のフェニックス一番高原選手。



フェニックス試合をひっくり返す。



本日のヒーロー高原選手(左)と太田投手(右)。

第18週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ!

第18週、8月27日は4試合が行われました。

青松園Bのレッドサンデーズ対三苦三球会戦は、初回先制のチャンスを逃したレッドに対し、三球会は三番大津選手の2ランで先制し、四回裏には三本の長打で一挙6点を挙げ試合を優位に進める。投げては吉留投手が五回まで4安打無失点。最終回代った塚達也投手からレッド川原正豊、陸選手の兄弟HRなどで3点を返すも3-8で三球会の勝利。

雁レクBの奈多サンデーズ対和白新町パイレーツ戦は、初回から撮っては取られての攻防は、1点を追う最終六回表、奈多サンデーズは一番川上選手、江口選手、打者一巡して川上選手のHRなどで8安打3HR10点を一挙に挙げ、江口、砂場、木下の3投手リレーで14-6の勝利。9人しかいなかったサンデーズは超ベテランの富安、前田両選手の活躍もあり快勝した。

青松園Aの雁の巣ライナーズ対新町ウインズ戦は、お互い投手が踏ん張り4安打同士。六回表にウインズ藤田投手が制球を乱し4四死球の押し出しで同点に追いつかれるも、その裏一死から六番永瀬選手が四球で出塁して七番藤田選手のライトへの当たりを滑りながら追いついた山本右翼手だったが、体制を崩してまともな送球が

出来ない隙をついて一塁ランナーの永渕選手が兆区ホームを駆け抜け、ウインズが2-3xで今季4回目のサヨナラ勝利。

奈多グラウンドの塩浜ジャガーズ対奈多フェニックス戦は、初回から激しい点の取り合い。しかし安打数はジャガーズ9本、フェニックス6本。お互い投手が制球に苦しんだ末の乱打戦。結果六回裏4四死球のフェニックスが一番高原選手が逆転サヨナラ打を放ち、11-12という試合を閉めた。

夏も終わりを告げ、昼間の厚さは残るものの、朝は一気に涼しくなりました。

身体を動かしやすくなった反面、体調管理が難しくなります。

夜間の冷房は切るなりして喉を守ることが大事になりますね。